



2026年5月18日

報道関係者各位

大阪医科薬科大学

再発膠芽腫を対象とする 第Ⅲ相医師主導治験の治験計画届を提出

悪性度の高い神経膠腫に対する BNCT の臨床効果を検証



学校法人大阪医科薬科大学(大阪府高槻市、理事長：佐野浩一、以下「本学」)は、ステラファーマ株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：上原幸樹)が提供する治験薬および住友重機械工業株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡部敏朗、以下「住重」)製の BNCT^{※1} 治療システムを用いた「再発膠芽腫(こうがしゅ)を対象とする BNCT の第Ⅲ相医師主導治験(以下「本治験」)について、治験計画書を提出しました。

本治験^{※2}は、住重製の BNCT 用中性子照射装置 (BNCT30) および BNCT 用治療計画プログラム (DE-01)、ならびにステラファーマ株式会社が提供するボロファラン (¹⁰B) (SPM-011) を用いて実施される第Ⅲ相試験です。

膠芽腫は、神経膠腫(こうしゅ)の中で最も悪性度が高く、特に再発した場合は治療の選択肢が限られ、以前として予後不良な疾患とされています。

本治験では、再発膠芽腫を対象に、BNCT の有効性および安全性を検証し、新たな治療選択肢の確立を目指します。



■ 本治験の概要

対象疾患	再発膠芽腫（IDH 遺伝子野生型）
目的	放射線療法およびテモゾロミドによる治療歴のある患者を対象に、SPM-011・BNCT30・DE-01 を用いた BNCT の臨床効果を検証する。
実施施設	大阪医科薬科大学病院（被験者登録・割付、評価観察、生存調査） 大阪医科薬科大学 関西 BNCT 共同医療センター（治験薬投与、BNCT 施工）
契約期間	2030 年 6 月 30 日まで
治験詳細情報	JRCT 掲載後に記載

※1 BNCT（ホウ素中性子捕捉療法：Boron Neutron Capture Therapy）とは、がん細胞に選択的に取り込まれる BNCT 用ホウ素薬剤を投与した後、体外から低エネルギーの中性子を照射することで、がん細胞を選択的に破壊することができる新しいがん放射線治療法です。

※2 今回のお知らせは、本治験への参加者募集や受診勧奨を目的とするものではありません。



2027 年、大阪医科薬科大学医学部 100 周年

【本リリースに関するお問い合わせ】

大阪医科薬科大学

総務部 企画・広報課

Email: hojin-koho@ompu.ac.jp

